



〇〇の秋 P a r t 1

❖曝書とは…

本来は図書の虫干しを指します。図書館にある目録と本を年に一度突き合わせることを長年「曝書」と呼んできました。今だに利用者の方からこの時期になると「あのむずかしい字を書くあれ…そろそろでねが？」と声をかけられたりします。そのたび懐かしさを感じます。

当時は職員が二人一組になり、一人が目録を読み上げ、もう一人が本を確認するという作業を黙々と続け、その後本を屋外に出し虫干しをしたり、ほこりを払い落としたりしていました。すべて手作業なので、当時の職員は大変だったと思います。現在では虫干しを必要とする図書が減り、「蔵書点検」と呼ぶようになり、点検や書架の整理が主となっています。

今年の栗盛記念図書館の蔵書点検は10月3日から6日まで行います。期間中はご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

❖秋…蔵書点検

現在行われている蔵書点検とは、ハンディターミナルと呼ばれる機械で一冊一冊本のバーコードを読み込み、データベースと照合し、その本が実際にあるか、そして指定された書架に置かれているかを確認する作業のことを言います。照合して本がない場合は、最後の一冊まで職員が必死になって探します。

それでも、どうしても出てこない本は最終的に「不明本」となり、この数が少ない程、資料がよく管理されている…ということになります。

電算システム化により、図書館内にある約15万冊すべての資料をスピーディーに把握できるようになり、時代の流れを感じます。

点検作業をしながら、昔読んだ懐かしい本に出会い、もう一度読んでみたいと思うことがあります。

本は時が経っても変わらない内容で存在し続けますが、読み手の感性は日々変化し、豊かになります。今の感性のもとでその本を読み返したとき、昔読んだ時以上の感動を得ることができるという本の魅力を再確認できます。

皆様も時を変え、昔読んだ本をもう一度読んでみてはいかがでしょうか。リフレッシュされた図書館でお待ちしております。(栗盛・架)

❀キッチンカーがきます

実は私も楽しみにしているキッチンカー、不定期ではありますが10月も来てくれます。10月は5日、12日、18日、20日、22日、24日、27日、31日です。通常は10時～15時頃までですが、18日と22日は午後12時30分から16時までとなっています。

やっと涼しくなってきたので、お菓子もありますがお弁当も持ってきてくれます。ヘルシーなお弁当で、私にとっては「弁当なしの日」となり、ささやかな楽しみになっています。ちなみに私の好きなコーヒーは温かいカフェラテ、砂糖なしでもとてもおいしいです。

コーヒーを飲みながら好きな本を読み、ついでにご飯も食べながらおしゃべりし、日が一冊図書館で、読書の秋を楽しんではいかがでしょうか。（保）